



©Yusuke Nishibe



# ITO JUKU

## 伊東建築塾

NPOこれからの建築を考える

### 2020年度ご案内



©Yusuke Nishibe



©Katsuhiro Aoki



©Tatsuro Sakata



©Ayumi Yoshino



©Kai Nakamura



©Katsuhiro Aoki



©Yusuke Nishibe



## 2020年度に向けて

伊東建築塾も2011年にスタートしてから10年目を迎えました。ここ数年間、公開講座や塾生講座（大三島ライフスタイル研究所）では大三島での島づくりを中心に地域活性化の問題をテーマとしてきましたが、本年度は初心に立ち返って、都市問題や公共建築等、現代社会の諸問題をテーマに、建築家としても、一般社会人としても、これらにどう対応していくべきかを考えたいと思います。

このため、大三島ライフスタイル研究所は呼称を元の塾生講座に戻し、新しい受講生の方も大歓迎です。

また、昨年度は体調を崩して参加出来なかった私も本年度は先頭に立って参加したいと考えております。

一人でも多くの皆様の御参加をお待ち申し上げます。

2020年3月

NPOこれからの建築を考える

理事長 伊東 豊雄



伊東豊雄

1941年生まれ。建築家。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」「みんなの森 ぎふメディアコスモス」「台中国家歌劇院」(台湾)など。日本建築学会賞、ヴェネツィア・ビエンナーレ金獅子賞、ブリツカー建築賞など受賞多数。

2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。これからのまちや建築を考える建築教育の場として様々な活動を行っている。また、自身のミュージアムが建つ愛媛県今治市大三島においては、塾生有志や地域の人々とともに継続的なまちづくりの活動に取り組んでいる。

「NPOこれからの建築を考える」は、東京の伊東建築塾と、瀬戸内海の大三島にある今治市伊東豊雄建築ミュージアムを結ぶ新しい建築教育の場です。この二つの機関を運営するために2011年にNPO法人を立ち上げました。これからの時代や社会に要請される、優れた人々を育成することを目的とし、人や自然との関係を包括的に捉え直す思想に基づいた建築教育を行っていきたいと考えています。

## 組織

理事長：伊東豊雄

副理事長：太田浩史

理事：所 洋介、長谷川浩司、村松 伸、  
矢内原充志、橋田光靖、尾越 優、  
藤原史宣、泉 洋子、東 建男、  
岡野道子、古川きくみ

監事：古林豊彦

## 会員数（2020年2月1日現在）

正会員：個人 155 名、団体 28 社 計 183 名

賛助会員：個人 1 名、団体 14 社 計 15 名

## 活動場所

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿3丁目32-12

アクセス：恵比寿駅より徒歩約13分

※駐車場はございません。

お車でお越しの方は、お近くの  
コインパーキングをご利用ください。

## 活動内容

### A 伊東建築塾事業

#### ①会員公開講座（年間6回開催）

さまざまな分野で活躍する講師を招くレクチャーシリーズ。

#### ②塾生講座（年間12回開催）

少人数制でこれからの建築の具体的な方向を探るシリーズ。

#### ③子ども建築塾（前期・後期2期制、年間20回開催）

年間を通じて建築の基礎を学ぶ子ども向けの建築スクール。

### B 今治市伊東豊雄建築ミュージアム企画運営事業

展覧会企画

講演会・セミナー・コンサート・ワークショップ企画

運営サポート



伊東建築塾 恵比寿スタジオ ©Kai Nakamura



子ども建築塾の様子



今治市伊東豊雄建築ミュージアム

# NPOこれからの建築を考える 会員募集のご案内

## 会員種別・会費

| 会員種別        | 入会金 | 納入額                                                                           |
|-------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------|
| 正会員（個人・団体）  | 0円  | 10,000円（年会費7,000円、寄付金3,000円）<br>※10,000円を超える金額をお支払いいただいた場合は<br>寄付金とさせていただきます。 |
| 賛助会員（個人・団体） | 0円  | 年会費300,000円／口（1口以上）                                                           |

- ・正会員は当法人の目的に賛同し、活動を推進する個人および団体の方です。
- ・賛助会員は当法人の目的に賛同し、活動を援助する個人および団体の方です。

## 会員期間

新規（1年目）の場合、入会日より1年間（入会月の翌年同月末日まで）有効。

継続（2年目以降）の場合、更新月の翌年同月末日まで有効。

## 会員特典

### 正会員（個人・団体）

- ・会員公開講座の受講料が無料となります。（各回1名まで）  
ただし、各回事前のお申込みが必要です。お申込み多数の場合、先着順とさせていただきます。
- ・年間3回の会報「Ito Juku Letter」と各種広報物をお送りします。

### 賛助会員（個人・団体）

- ・会員公開講座の受講料が無料となります。（各回2名まで）  
ただし、各回事前のお申込みが必要です。お申込み多数の場合、先着順とさせていただきます。
- ・塾生講座の受講料が無料となります。（各回1名まで）年間を通じて受講されることをお勧めいたします。
- ・当法人のウェブサイト、会員様の法人名およびウェブサイトのリンクを掲載させていただきます。
- ・年間3回の会報「Ito Juku Letter」と各種広報物をお送りします。

## 入会・継続お申込みと会費納入方法

- ・当法人のウェブサイトの入会お申込みフォームに必要事項をご記入のうえ、送信下さい。  
<http://itojuku.or.jp/course/a/form/>
- ・下記の銀行口座までお振込みにてお支払い下さい。

**みずほ銀行 青山支店 普通 2041381**

**特定非営利活動法人これからの建築を考える トクヒ)コレカラノケンチクオカンガエル**

※ 恐れ入りますが、振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。

※ お申込みフォームの受理とご入金確認をもって、入会・継続手続きが完了いたします。

# ① 会員公開講座

## 「私達は現代社会をどう生きるか」

— 建築関係者に限らず、広く一般の方を対象として「これからの建築」のあり方を考えます。

今日、都市では大規模な再開発が進み、木造密集住宅地や古くからの商店街が高層ビルに建て替えられています。このような再開発は華やかで人々の暮らしを豊かにしているように見えますが、他方で経済格差を拡大し、また都市空間の個性を失わせて均質化を促進し、人々の孤立化を高めているように思われます。この激しく変化し、複雑化している社会を豊かに生きていく方法を私たちは模索しなくてはなりません。また建築家としては、このような社会に対して何が出来るのかを考えなくてはなりません。この講座ではさまざまなテーマを取り上げ、それぞれの分野で活躍されておられる講師の方々をお招きして、皆さんと対話しつつ考えてみたいと思っております。

各回テーマ・講師（開催順不同） ※テーマは変更となる可能性があります。

### ①「私達は現代社会をどう生きるか」

- ・レクチャー「建築家として何が可能か、何をなすべきか」 伊東豊雄（建築家）
- ・座談会 伊東豊雄（建築家）／伊東史子（デザインマネジメント・ジュエリー職人）  
／川上純子（翻訳者・編集者）／柳澤潤（建築家）

### ②「都市の新しい居住形態が新しい家族像を生む」

- ・シェアハウスを営む 竹沢徳剛（RYOZAN PARK 代表）
- ・コドモチョウナイカイの体験 式地香織（建築家・コドモチョウナイカイ事務局 代表）

### ③「変わる大三島、地方移住者の報告」

- ・大三島に移住して 関戸沙里（大三島みんなの家）
- ・大三島の生活(VTR) 高橋享平（大三島ブリュワリー）／小松洋一（パン屋まるまど）／川田佑輔（大三島みんなのワイナリー）
- ・大三島と東京を往復する 近藤奈々子（建築家）

### ④「新しいモビリティの可能性」

- ・自動運転の実態 三好健宏（日産自動車株式会社 主担）

### ⑤「災害が新しいコミュニティを生む」

- ・熊本地震の体験 桂英昭（くまもとアートポリスアドバイザー）
- ・災害公営住宅をめぐる 千葉学（建築家）／岡野道子（建築家）

### ⑥「公共建築の役割」

- ・我が国の公共建築の実態とあるべき姿 小野田泰明（東北大学教授）
- ・くまもとアートポリスのコンペティション 曾我部昌史（神奈川大学教授・くまもとアートポリスアドバイザー）



講座風景

#### 【2020年度特別講座】

1. 建築家にとって夢とは何か  
若手建築家(複数名) × 伊東豊雄(建築家)
2. 小松義夫(写真家) × 伊東豊雄(建築家)

※特別講座の詳細は、別途ご案内いたします。

|      |                                                                         |
|------|-------------------------------------------------------------------------|
| 開催日数 | 年間 全6回（土曜午後もしくは夜、1回あたり2～3時間を原則としています。）<br>※都合によって変更の可能性がございます。          |
| 会場   | 伊東建築塾 恵比寿スタジオ ※特別講座は塾以外の会場を使用する場合もございます。<br>〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3丁目32-12 |
| 受講対象 | 正会員、賛助会員、塾生                                                             |
| 定員   | 60名                                                                     |
| 受講料  | 無料                                                                      |
| 申込方法 | 開催日の1ヶ月前までにご案内のメールを配信しますので、指定の方法にてお申込みください。                             |

過去の講座のレポートは伊東建築塾のブログから  
ご覧いただけます。  
<http://itojuku.or.jp/blog/>



## ② 塾生講座

—塾生たちの自主性を尊重しながら、これからの建築や都市のあるべき姿を学びます。

昨年度までの大三島ライフスタイル研究所は呼称を元の塾生講座に戻し、新たに受講生を募集します。

講座では、公開講座とも連携して以下のようなテーマを設定し、月一回テーマ毎に講師のレクチャー、提案、対話、講評等を繰り返しながら進めたいと考えています。

講師陣は伊東をはじめとして、さまざまな分野で活躍中の方にご参加いただき、親しく対話できるような形式を採用します。建築を専門としない方々の参加も歓迎いたします。奮って御参加ください。

テーマ（開催順不同） ＊テーマは変更となる可能性があります。

studio1

『空き家を改修してシェアハウスをつくる』

studio2

『大三島のモビリティについて考える』

studio3

『大三島の参道の活性化について考える』

studio4

『秋の大三島を訪れる』(2泊3日) ＊旅費別途

studio5

『大三島でワイン醸造を体験して  
ワインについて学ぶ』 ＊旅費別途

講師



伊東豊雄  
(建築家)



柳澤 潤  
(建築家)



藤江和子  
(家具デザイナー)



藤森泰司  
(家具デザイナー)



山崎誠子  
(ランドスケープ(テクニカル)デザイナー・(構造エンジニア)デザイナー)



安東陽子  
(コーディネーター)



金田充弘  
(構造エンジニア)



三好健宏  
(日産自動車株式会社)



吉岡寛之  
(建築家)



高野洋平  
(建築家)



近藤奈々子  
(建築家)



丸山智也  
(グラフィックデザイナー)



石井 海  
(デザイナー)



監物 拓  
(ワインエキスパート・建築士)



高橋直彦  
(左官職人)

＊参加人数に合わせて、年間を通じてテーマ毎にチーム分けを行うか、すべてのテーマを全員で取り組むか決定させていただきます。

時間・回数

年間 全12回(月1回)

＊別途、公開講座(6回)も受講可能です。

受講対象

学生、一般成人

定員

20名

＊定員を超えるご応募があった場合は、面接による選考を行わせていただきます。

受講料

一般成人120,000円(月額10,000円×12ヶ月)、学生60,000円(月額5,000円×12ヶ月)

＊合宿の旅費は含まれていません。また、通塾・見学にかかる交通費は各自ご負担ください。

＊前期4月末/後期9月末までに半額ずつ納入していただきます。

申込締切

2020年3月22日(日)

入塾選考日

2020年3月29日(日)

申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。<http://itojuku.or.jp/course/b/form/>



# ③ 子ども建築塾

## 「いえとまちって何だろう？」

— 子どもたちの建築やまちに対する意識を高め、思考や表現の個性をのびします。

小学校高学年の児童を対象に、一年を通して建築やまち、環境について考えます。

前期は「いえ」をテーマに、住宅のスケールや模型のつくり方、発表の仕方などを学びながら、想像力あふれる「いえ」を設計します。後期は「まち」をテーマに、まちの成り立ちや公共空間、ランドスケープについて考えます。

### テーマ

前期課題(4～9月)

『透明ないえ』 担当:アストリッド先生

後期課題(10～3月)

『100人島をつくろう!』 担当:太田先生

### 講師



伊東豊雄  
(建築家)



アストリッド  
・クライン  
(建築家)



太田浩史  
(建築家)



柴田淑子  
(建築家)



式地香織  
(建築家)

### 助手

※ 建築設計にたずさわる建築家や、建築やデザインを学ぶ大学生・大学院生がTA(ティーチング・アシスタント)として参加します。  
塾生一人ひとりの特性や理解の度合いを把握し、学習や制作をきめ細かくサポートします。



授業風景



授業風景



中間発表

### 【TA(ティーチング・アシスタント)募集】

講師の建築家から直接レクチャーを受けたり、建築家が設計した建物を見学したり、子どもたちと一緒に建築を学べるだけでなく、大学や職場を超えた建築仲間ができるチャンスです!詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

#### 時間・回数

隔週土曜日14:00～16:00 全20回、2期制(前期10回 / 後期10回)

※授業内容により、曜日・時間を変更する場合がございます。

#### 受講対象

小学校高学年(4年～6年)の児童

#### 定員

20名

※定員を超えるご応募があった場合は、模擬授業による選考を行わせていただきます。

※模擬授業では、約1時間半の間、出題されたテーマの「いえ」のスケッチを描きながら、講師が個別に対話を行います。

#### 受講料

年間152,000円(月額11,000円×12ヶ月 + 模型材料費20,000円 / 年)

※教材費を含みます。通塾にかかる交通費は、別途ご負担ください。

※前期分として4月末までに76,000円、後期分として9月末までに76,000円ずつ納入していただきます。

#### 申込締切

2020年3月22日(日)

#### 入塾選考日

2020年3月28日(土)

#### 申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。<http://itojuku.or.jp/course/children/form/>



今治市伊東豊雄建築ミュージアムは、瀬戸内の美しい多島海の中央に位置する大三島に2011年に開館しました。主に展示に使用される「スチールハット」と、アーカイヴの保存およびワークショップの場となる「シルバーハット」があり、伊東建築塾が取り組む大三島のまちづくりの活動を紹介する他、これからのまちや建築について考えるレクチャーや子どもを対象としたワークショップなど、さまざまな活動を行っています。



スチールハット ©Daici Ano



シルバーハット ©Daici Ano

## 2019年度のイベント



展示風景 ©Katsuhiro Aoki

### 今治市伊東豊雄建築ミュージアム2019年度展覧会 聖地・大三島を護る＝創る2019

会期：2019年7月4日～2020年6月14日

明日の大三島を夢見て汗を流している「護る人＝創る人」の活動の一端をインタビュー映像や写真など、ドキュメンタリー形式でご覧いただけます。エントランスでは、写真家の西部裕介さんが撮影した「大三島に生きる人々」、サロンでは、今治北高等学校大三島分校のこれまでの活動や制作物が展示されています。



開催風景 ©Ayumi Yoshino

### 篠笛と大三島を巡る2Daysコンサート「島風」

日時：2019年5月25日、26日

出演：佐藤和哉

篠笛奏者の佐藤和哉さんをお招きし、初の2日間にわたるコンサート「島風」を行いました。大三島の食事やドリンクをお楽しみいただきながら、瀬戸内海の夕景や大三島の自然とともに演奏を堪能していただきました。



制作風景 ©Ayumi Yoshino

### 子どもワークショップ「大三島どろんこハウスをつくろう！」

日時：2019年10月26日

講師：高橋直彦

今治の小学校1～6年生の子どもを対象に、子どもワークショップを開催しました。左官職人の高橋直彦さんに講師を務めていただき、左官の仕事や道具、土の性質について教わり、実際に土に触れ、みんなでどろんこハウスをつくりました。